

しらせ見学（つなぎ広報）



自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 大柿3陸尉）は令和3年8月26日（木）及び8月27日（金）、海上自衛隊横須賀基地で実施された砕氷艦「しらせ」の見学に、春の一般曹候補生合格者及び秋の一般曹候補生1次受験予定者、第1回幹部候補生合格者等2日間を通して14名を引率した。

目的としては、自衛隊への入隊意志を強固なものにするとともに、陸上自衛官志願者には他幕の艦艇を見学することにより、より広く自衛隊の活動内容を理解してもらうことにある。

今回の「しらせ」見学で参加者が、友人等に自衛隊を見学した体験話をしていただければ、幅広く自衛隊への理解を深めることができると認識している。

横浜中央募集案内所は「引き続き、良好な募集環境の構築のため募集広報活動及びつなぎ広報に尽力していく」としている。



パイロットによるリモート航学説明会



神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 内山2空尉）は、令和3年9月13日（月）及び9月16日（木）の2日間、同事務所において航空学生対象者に対しリモートによる説明会を行なった。コロナ禍の現状を鑑み、密を避けるため2日間に分けて開催した説明会には、パイロットを志す7名が参加した。

今回の説明会の講師は、海上自衛隊C-130Rパイロットで厚木募集案内所の所長である石井3海佐にご協力を頂き、厚木募集案内所と市ヶ尾募集案内所をリモートでつないで開催した。画面に石井3海佐が現れると、参加者から歓声があがった。始めにお互いの自己紹介をしたり、航空部隊での長年の経験を踏まえ勤務内容や訓練経験を紹介したりとコミュニケーションを図りながら説明会がスタートした。また、海上自衛隊のパイロットを選択した動機についても話があり、参加者から積極的な質問が飛んでいた。



次に航空機の仕組みについて解説が始まると、和んでいた空気が一变し、参加者たちは真剣な眼差しと変わった。「航空機の操縦イメージが具体的に想像できました」や「説明が分かり易く、とても有意義な時間でした」と嬉しい感想があった。

市ヶ尾募集案内所は「リモートでの開催であったが、現役パイロットと交流できる機会は、パイロットになりたいというモチベーションアップにもつながった。引き続き、参加者たちをフォローし、一人でも多く入隊へ導いていきたい。」とコメント。